

マイナス金利商機つかめ

日銀によるマイナス金利政策導入後、未曾有の金利低下を好機とみる動きが広がっている。名古屋銀行（名古屋市）は、経済産業省の補助金を融資の「呼び水」とする助言業務に力を入れている。老後の資金づくりを目的とする「ワンルーム経営」に乗り出す社員も出ている。（太田鉄弥）

中古マンション

老後の資金づくり

個人向けビジネスも勢いづく。中古マンション投資の日本財託（東京）では二、六月の相談・物件紹介が五百十件と前年同期よりも百件多い。「家賃収入を目的にワンルームマンションを買うサラリーマンが増えている」。広報室の小林和徳課長代理（三）が説明するのは「自分年金」と呼ばれる動きだ。例えば、一千万円のワンルームをローンで購入し、十数年で完済後は家賃収入が丸々家計に入る。名古屋支店に相談に来た男性会社員（五〇）も「（企業）年金は目減りし、預金も低金利で増えないから」と注目していた。